

# 下流域の漂着ごみ

## 三重県



### 長良川河口堰



ゲートの上流側にたまった流木や一般廃棄物を収集する作業の様子。

写真提供：独立行政法人水資源機構長良川河口堰管理所

### 四日市港



2018年8月17日撮影

### 高須海岸



2018年7月9日撮影

西日本を中心に発生した平成30年7月豪雨（2018年6月28日～7月8日）の影響で流木など大量のごみが三重県の四日市港や高須海岸に漂着した。

写真提供：四日市大学環境情報学部 千葉賢教授

### 答志島 奈佐の浜



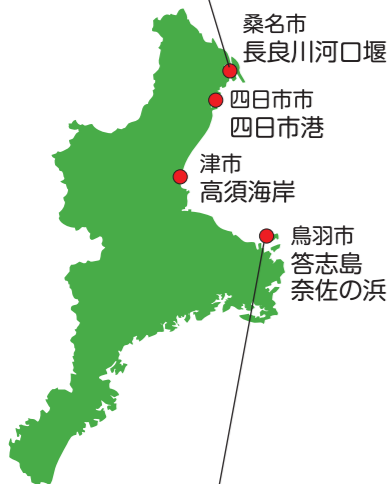
2017年10月24日撮影



2019年10月 海岸清掃後の奈佐の浜

奈佐の浜は、伊勢湾の中で最も漂着ごみが集まる海岸と言われている。伊勢湾に流れ込む河川水の7割は木曾三川が占めており、伊勢湾に流れ込むごみも同河川からのものが多いと推定される。

写真提供：四日市大学環境情報学部 千葉賢教授



## 愛知県

### 庄内川・新川河口部



2018年10月23日撮影

写真の大量のペットボトルは、台風による高潮の影響で河口部のヨシ帯に滞留していたものが浮上して吹き寄せられたと考えられている。市民団体（藤前干潟クリーン大作戦）による回収作業が行われ、推計で19万本ものペットボトルが回収された。

写真提供：四日市大学環境情報学部 千葉賢教授



伊勢湾の漂着ごみは、大半が伊勢湾流域から発生しており、揖斐川・長良川・木曾川の木曾三川から流れ込むものが多いと推定されています。

豪雨や台風の影響で川が増水すると、ポイ捨てなどによって河川区域や河川周辺に散乱した人工ごみと、流木や灌木などの自然ごみが、川の流れとともに流下して伊勢湾に流れ込みます。

私たち岐阜県民にとって身近な川の周辺のごみを拾うことはもちろん、家や学校の近くを清掃して、水路などを通じて川に流れ込むごみを防ぐことも、海洋ごみの抑制につながるのです。

# 長良川ごみ分布調査2023



## 海のない岐阜県から、海を守るために私たちができることは？

近年、海洋プラスチックごみが国境を越えた大きな環境問題となっています。

国内では、流木などの自然ごみも漁業や海洋生物などへの直接的な被害を与えており、プラスチックごみを含めて、その対策が求められています。

環境省の調査では、伊勢湾の漂着ごみの大半は伊勢湾流域に由来することがわかっており、内陸の岐阜県においても発生抑制に取り組む必要があります。

海と日本プロジェクト in 岐阜県では、岐阜市を流れる清流・長良川の下流域を対象に河川区域におけるごみの散乱状況の実態把握を目的として調査を行い、その結果を本資料にまとめました。

本資料をきっかけに、海洋ごみ問題について考えていただけたら幸いです。

### 海と日本プロジェクト in 岐阜県 長良川ごみ分布調査2023

〈主催〉 一般社団法人海と日本プロジェクト岐阜（事務局 株式会社岐阜放送）

〈監修〉 四日市大学環境情報学部 千葉賢教授

〈協力〉 NPO 法人長良川環境レンジャー協会 岐阜県廃棄物対策課 三重県大気・水環境課

岐阜放送のホームページでは本調査の詳しい結果を公開しています。

<https://www.zf-web.com/event/cfb-map2023.html>

本調査は日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で実施しました



# 海と日本プロジェクト in 岐阜県 2023年度 長良川ごみ分布調査 長良川ごみマップ

長良川下流域(岐阜市内)から選定した6地点において、ごみを回収しその個数を数え、ごみの分類ごとに計量することでごみの量と組成を調査しました。各地点において調査は2回実施しました。調査地点は、「人が利用する地域」「橋の周辺」など、比較のごみが溜まりやすいと考えられる特徴を有する地点とし、事前視察をもとに決定しました。



調査には大学生を中心に、岐阜・三重・愛知に在住・在学する中学生から社会人まで幅広い年代の方にご参加いただきました。



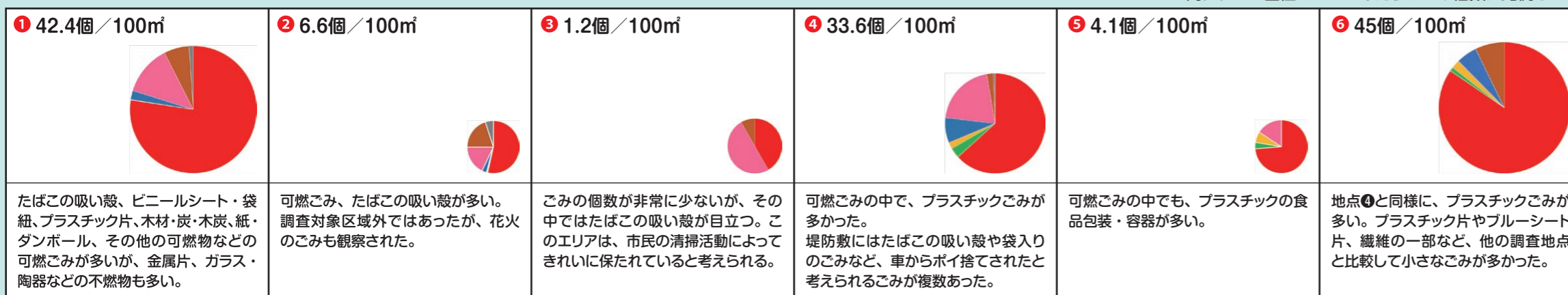
**調査日**  
 1回目：2023年 6月 10日(土)  
 2回目：2023年 7月 2日(日)  
 ※2回目の調査では地点⑤および⑥のみ  
 7月1日(土)に実施

**調査地点**  
 ①リバーパークおぶさ広場(岐阜市長良雄総)  
 ②鏡岩緑地駐車場前(岐阜市鏡岩)  
 ③高橋尚子ロード(岐阜市福光)  
 ④左岸側 忠節橋下(岐阜市忠節町5丁目)  
 ⑤東島(岐阜市東島)  
 ⑥長良川と伊自良川の合流地点(岐阜市一日市場)



## 6地点の100㎡あたりのごみの分類別個数と割合

※円グラフの直径は100㎡あたりのごみ個数に比例させた



本MAPのデータは2回の調査の平均値です。2回目の調査は1回目の調査の21日後に同一の場所で実施しており、多くの地点で2回目のごみ個数が低下しました。

- 可燃ごみ (プラスチック含む)
- ペットボトル
- ビン・カン
- 不燃ごみ
- たばこの吸い殻
- 流木・灌木
- 直火跡

